

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No2 No8	地域行事の秋祭りを観たり、フラダンスクラブの方との交流はあっている。季節の花を観たりする事で季節を感じて頂いている。しかし入居者の高齢化などにより外出頻度も減っている。以前は参加していた障害者施設との交流もできていない。	個別対応できる車で外出する事で、馴染の場所へ出かけたり、近くのスーパーで買い物したりできるよう安全面の配慮をしながら実施する。地域行事などへの取り組みは市報などをみながら、地域活動へ参加できるように職員と協力しながら取り組む。	①入居者一人一人の生活歴を知ることで、行きたい場所などの把握を行い、ご家族との協力支援を頂き、体調把握などを行いながら無理のない範囲で実施できる所から取り組む。 ②地域行事については、今まで実施していた中	12ヶ月
		また新しい地域活動への働きかけもできていない。外出する際は、同病院のバスを利用しているため、個別対応ができず入居者が行きたい場所へ行くことができていない。		で今、実施できていない事に再度取り組む事から、はじめ、今後の地域活動への参加に繋がれるようする。 ③診療所へリハビリに行くことで、馴染の関係の方と触れ合いはあるので、施設の事を知って頂き訪問の声かけを行う。	
2	No13	火災、水害、地震等のマニュアルは整備され年2回の避難訓練も関連病院と合同で実施できている。しかし夜間想定避難訓練については現在検討中で実施できていない。消防団への働きかけもなされている。	年2回の避難訓練の実施時の1回は夜間想定訓練に取り組む。また水害、地震についても日頃より、入居者の所在確認を行うことで的確な避難ができるようにする。	①事業主、管理者、関連病院と具体的な取り組みができるよう話し合いを行う。 ②運営推進会議で避難訓練の話題を取り上げ、地域の方や市役所、ご家族にも協力を得られるようにする。	12ヶ月
				③日頃より入居者の所在確認をしながら業務する事で、少しでも早く避難対応ができるようにし、備蓄品の確認や危険個所の確認を行う。 ④朝礼時に非常時の連絡網の確認を行う。年2回の避難訓練時に連絡網の訓練を実施する。	

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。